

IV. 2025年度 活動方針（案）

2024年度経過報告を踏まえ、2025年度活動方針として、次の目標と具体的な活動内容を掲げていきます。

一. 働き甲斐のある職場づくりを実現するため、運動を展開します

心に余裕をもって区民に接することができる職場づくりを目指します。予算人員要求、職場ごとの定数開示と異動前の交渉、職場諸要求を当局に提出して実現を迫っていきます。また職員一人一人が組合に結集して大きな声となるよう、各職場での取り組みも大切にしていきます。

二. 組合員の増加を目指して運動を展開します

組合に未加入の職員に一人でも多く加入してもらえるよう、広く組合活動の大切さを訴えていきます。また、組合活動に協力しやすい仕組みを模索していきます。

次代の組合活動を担うためのスタッフの確保に全力をあげていきます。

三. 首都圏で生活改善ができる賃金の引き上げや労働条件の改善をめざし、特別区職員労働組合連合会（特区連）に結集して運動していきます

23区職員に共通している統一交渉事項は、各区職員労働組合が連合して取り組まなければならない課題です。物価高騰に見合った給与水準の引上げは欠かせません。また高齢期職員の月例給水準、再任用職員の月例給・一時金月数の改善は急務です。特別区当局に対して、国・都に追従することなく自主的・主体的な判断をさせるために、特区連に結集して運動に取り組みます。

四. 会計年度任用職員制度の抱える問題の解決を図ります

会計年度任用職員に関しては、雇い止め等課題が山積しております。東京公務公共一般労働組合台東支部と連携し、会計年度任用職員諸要求の実現に向けて共闘を図っていきます。

五. 生活・医療・福祉を守る団体と共闘して、区民生活を守る活動を推進します

「区民の暮らしを守る予算要求を求め実現をめざし共同する会」とともに区民生活に根差した予算の実現を目指します。

また厚生労働省の全国の公立公的病院の再編計画で台東区立台東病院を対象したことについて、「台東病院を守る会」や医療・福祉を守る活動を行う団体と

共闘して、区民生活を守る活動を推進します。

六. すべての社会生活の基盤である平和と民主主義を守るため、平和を迫及する運動に連帯していきます

太平洋戦争が終結して戦後８０年目を迎えました。唯一の被爆国として核兵器のない世界を目指す必要があるはずの日本が、国連の核兵器禁止条約についてはアメリカに追随して未だ批准をしていません。世界の地域紛争は依然として発生し、平和が脅かされています。平和と民主主義を追求する運動について、諸団体と連帯して活動していきます。